

Handwritten text at the top of the document, including the date "千八百七十四年" (1874).

千八百七十四年 三月三十日  
自英種之儀至寺島御  
大正儀祝詞三解之故障之儀  
未以銀禮三不訴出旨  
意別紙ナシ

Handwritten text in the upper right section of the document.

Vertical handwritten text along the right edge of the document.

3-0062

0142

第百四番

外事左局

御

左  
右  
清  
左  
右  
録  
左  
右

御文

寫濟

各歳十二月卒より所々を輪流に披露見付被るに  
庫程并に於る外國人所持の船舟に候る御文  
り候方へ傳へ生かすに英國人にて控室往來し  
その方より其取立被るに於る御文に候る御文  
國領事より申付所を輪流に於る御文に候る御文  
御文に候るに於る御文に候る御文に候る御文  
御文に候るに於る御文に候る御文に候る御文

外務省

三月三十一日

御文

ハリエスパルケス

寺島外務卿

閣下

上る 四〇〇

翻譯文

若歲十二月二十日付之書翰落手被見是  
外之無事統系に於て外國人所持之船舟  
之儀、自茲故障を去りて依り生じ、英國人  
民之損害請求申立に之の有之を、其後  
は報知可申報に在り、同港在留我國領事  
本月より書翰を以て其之請求未々許  
出に在り、申來に當り、其之請求未々許

英國公使館

念右回書翰に意及り、其之請求未々許

三月二十日

英國公使

ハリエスバルケス

寺嶋外務卿

閣下

馬

